

—探究を通じて自己創造を！ 挑戦する勇気を！—

課題を主体的に発見・思考・解決し、新たな価値を創造できる人材育成プログラムの研究開発

令和 6 年度 SSH 成果発表会・運営指導委員会

2025 年 3 月 10 日

3 月 10 日（月）に、SSH 成果発表会を実施し、併せて運営指導委員会が開かれました。成果発表会では、2 年文理特進と 1 年特進によるポスター発表、そして今年度松商代表として外部で発表した 3 グループに口頭発表をしました。前回の中間発表会同様に清水中学校から 20 名の生徒と 2 名の先生方、才教学園小中学校から 4 名の生徒と 1 名の先生をお迎えして発表を頂き、また保護者、大学関係者など含めて 50 名の方に見に来ていただきました。皆様のご指導やご支援を積極的に取り入れつつ、SSH 事業を推進させ、生徒や地域に還元していきます。

◆松商学園代表の 3 グループによる口頭発表内容**①「低コストおよび高機能ホバークラフト教材の開発」 令和 6 年度 SSH 生徒研究発表会 松商代表**

発表者：2 年 13 組 角田瑞季/2 年 13 組 赤羽草太

②「脂質から日本人を救う～郷土味噌を使って～」 第 6 回「サイエンスキャッスル」「アサヒ飲料賞 2024」受賞

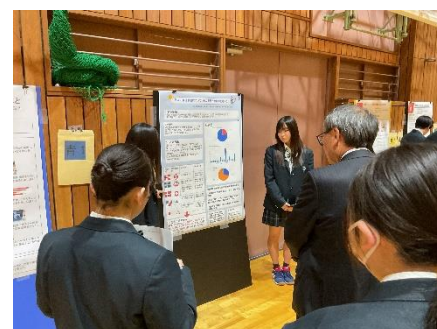
発表者：2 年 13 組 宮尾彩七/2 年 13 組 古畑美南/2 年 12 組 山田紗采

③「Mold found in different environments」※英語発表 国際共同研究(カンボジアの高校との共同研究)

発表者：1 年 12 組 三輪梓/1 年 12 組 陳語綺/1 年 12 組 吉村優里

**●生徒の皆さんの感想より**

- ・大人へ説明するのは緊張したけれど、1 年以上かけて調べてきた事を真剣に聞いてくれて、めっちゃ楽しかった。
- ・こんなに大きな会で発表するのは初めてでした。とても活気があってあっという間に時間が過ぎました。
- ・ステージでの発表がかっこ良かった。英語で発表しているグループや実際にモノを作っている探究があり、自分にももっとできと思った。
- ・大学の先生に「こうしたら」というアドバイスをいただき、もっと他の条件を加えて実験をしたいと思った。



◆第2回運営指導委員会

始めにこれから本格的に探究活動をする1年生3グループに、現状報告と展望を発表してもらい、運営指導委員の先生方にアドバイスをもらいました。生徒達もやりたいことを堂々と語り、探究活動において何よりも大切なのは、「こんなものを作って生活を改善したい、こんな研究をしたい」という熱意であると感じました。

後半は本校の1年間の活動報告を行い、次年度に向けての専門的な助言をいただきました。また、「事業の取り組みにおいては、PDCAのうちCA不足とよく言われる。」などというお話もいただきました。運営指導委員の皆さんの助言を大切なCheckの1つとし、必ずActionにつなげて本校が柱にしている4本の柱となる教育全てをより深化された良いものに改善していきたいと思います。

●運営指導委員の皆さんの助言より

- ・次年度は「どんな質問をされるか」まで考えながら発表準備ができると、よりよい発表となる。
- ・扱うデータの視野がまだまだ狭い。さらに多角的なデータに触れて仮説を立てていただきたい。
- ・国際的な探究は、難しさや課題も多いが大きな達成感を得ることができる。多くの生徒が国際交流に関わる取り組みを増やしていただきたい。
- ・文系でもデータ活用は重要となっていることを踏まえても、情報ソースの取り方には改善の余地がある。

最近のSSH活動

東京大学における天文学実習

1月25日(土)・26日(土)に東京大学で天文学実習を行いました。長野県とも縁のある東京大学大学院理学系研究科宇宙惑星科学機構 特任研究員の三戸先生に宇宙の構造についての講義を受けた後「視角」・「銀河の大きさ」についての実測実習を通して宇宙の年齢をグループごとに求め発表しました。この研修には諏訪清陵高校や松本県ヶ丘高校の生徒も参加し、各グループを3校の生徒で形成しました。学校の垣根を越えた議論、グループ発表を行う事ができ、とても有意義な研修となりました。



国立真豊高級中学(台湾・台南)との国際交流

2月17日(月)台湾の国立真豊高級中学(高等学校)の生徒17名を迎え交流会を行いました。松商学園の理系を中心とした授業に出てもらい、放課後は部活動単位での日本の体験をしてもらいました。真豊高級中学と本校生徒が1対1でバディを組み、国際感覚の涵養と英語利用の促進を行うことができました。



信州サイエンスミーティング

3月2日(日)信州大学理学部で行われた信州サイエンスミーティングに本校代表が参加しました。他校や大学生の発表に大きな刺激を受けることができました。

発表テーマ

- ・「郷土味噌の種類による脂質分解力の比較」

宮尾彩七・古畑美南・山田紗采

- ・「特定外来生物のアカボシゴマダラは在来種を絶滅させてしまうのか!?!」

上條來那/福田莉久/齋藤京果/中島由唯/中原冬華/熊谷愛莉

- ・「松本湧水群における薄川・女鳥羽川水系の混合率の解明」

大西李和/有田美羽



学校法人松商学園

松商学園高等学校

SSHの活動はホームページに掲載されています

<https://www.matsusho-h.ed.jp/>

